

令和 6 年度 第 10 回臨時理事会議事録

令和 7 年 2 月 24 日 19 時 00 分、Web 会議システム（Zoom による同時双方向型）を用いて理事会を開催した。

理事総数 23 名 出席理事 20 名

監事総数 2 名 出席監事 2 名

Web 会議システムによる出席：

代表理事 児玉公正、理事 丸山悟、理事 高橋 知美、理事 木田京子、理事 長澤淑恵、理事 舟山健一、理事 泉健介、理事 佐藤理恵、理事 山本清人、理事 藤本索子、理事 渡邊華月、理事 山田優子、理事 井上明子、理事 田島良輝、理事 伊勢幸広、理事 濱貴一、理事 森英寿、理事 小窪恭介、理事 清水正、理事 佐古井倫子
監事 平野義明、監事 森田啓之
オブザーバー 秋葉茂季

事務局より、定足数を満たす出席があったことから本理事会が有効に成立している旨報告があり、代表理事児玉公正が議長となり、開会した。

[審議事項]

第 1 号議案 「U23 日本代表 2025 年アジアカップ」派遣について（資料あり）

木田専務理事より、「U23 日本代表 2025 年アジアカップ」派遣について提案がなされた。日本ソフトボール協会（以下、「JSA」）が財政難を理由に 2025 年度の事業計画から U-23 男子アジアカップ派遣の中止を決定したこと、JSA より大学連盟に派遣検討の依頼があったことなど、これまでの経緯について説明がなされた。派遣にあたっては航空券代など個人負担で約 270,000 円～300,000 円となる見込みであること、約 300 万円の連盟資金が必要となること、そのうち 200 万円を協賛として確保できれば派遣の目処が立つため、強化委員を中心に協賛活動を進めつつ理事会審議を行う予定であったことも説明がなされた。

本理事会で派遣が正式に承認され次第、JSA に正式に文書を提出し、その後のワールドカップ派遣についても強く要望する意向が示された。なお、2 月 23 日時点での協賛金の見込み額は 1,710,000 円に達しており、引き続き協賛依頼を募って学生の負担軽減を目指す方針が報告された。種々議論のうえ、アジアカップ派遣およびワールドカップ派遣に関して、以下の意見が出された。

【佐藤強化担当理事】JSA が財政難により若年層の派遣事業を削減している現状を踏まえ、大学男子カテゴリーの強化のために U-23 派遣の実現は極めて重要であると述べた。また、協賛金募集期間を延長し、可能な限り学生の個人負担を軽減する努力を行う意向を示した。

【清水理事】JSA が突然大学連盟に派遣を依頼してきた経緯について、実業団所属選手も U-

23 カテゴリーに該当することから、大学連盟への依頼の前に実業団への協力要請を行うべきであったのではないかと指摘した。また、アジアカップ突破後に大学連盟所属選手がワールドカップに派遣される旨の確約を JSA から得る必要があると強調した。これに対し、木田専務理事より、大学連盟への依頼は JSA から直接あったものであり、実業団からの協賛は困難である事情が説明された。

ワールドカップ派遣については大学連盟主導で進めるべきであり、派遣の条件を明示し、JSA から明確な文書回答を得て混乱を避けるべきとの見解が示された。

【長澤常務理事】JSA 側の対応に疑問を呈しつつも、大学連盟として主体的に進めるべきとの意見を述べた。JSA 評議員会で、ワールドカップ派遣について議論はなされているものの、正式決定には至っていないため、大学連盟として正式な要望書を提出し、確実な回答を求める必要があると述べた。

【山本理事】JSA が U-23 派遣を大学連盟に一任した以上、大学連盟が責任をもって進めるべきと述べた。また、アジアカップ派遣を大学連盟が担当する以上、ワールドカップ派遣についても大学連盟が担うべきであり、その旨を JSA に確約させるべきと強調した。

【平野監事】JSA の財政状況を理解しつつも、資金調達における他の手段を検討したのか疑問を呈した。また、各地区理事長の意見も理事会で共有すべきとの指摘があり、これに対し木田専務理事より各地区からの反応が紹介された。

【伊勢理事】清水理事の意見に同調しつつ、現時点ではワールドカップ派遣が未確定であることを確認した。大学チームの国際大会派遣には大きな意義がある一方で、ワールドカップ派遣については必ずしも大学チームにこだわる必要はなく、A 代表派遣も選択肢とすべきとの考えを示した。また、JSA が協賛金募集などで大学連盟派遣を支援する形が実現できれば、両者の関係強化にもつながるとの提案を行った。

以上の意見を踏まえ、理事会として以下の方針が確認された。

1. 大学連盟が U-23 アジアカップ派遣を主導する。
2. JSA に対してワールドカップ派遣に関する確約を強く求める。
3. 協賛金募集を継続し、学生の負担軽減に努める。
4. 今後のやり取りはすべて文書で行い、理事会議事録を添付した要望書を JSA に提出し、文書による回答を求める。
5. 大学連盟と JSA の協力関係を深化させ、学生育成と連盟の発展に資する体制を構築する。

本議案について議場に諮ったところ、全会一致で承認された。

第 2 号議案 令和 7 年度 男子インカレ旅行会社の公募について

木田専務理事より、男子インカレの旅行会社について公募を行う旨提案がなされた。女子については二年前に公募を行ったが、男子は行っておらず旅行会社によって協賛内容や協力内容が異なるため、女子同様に男子も公募して旅行会社を選定すること、今後、理事

会承認後に男子開催地である富山県協会と最終打ち合わせのうえ、了解が得られれば全日本学連HPにおいて公募を実施すること、業務執行理事および男子インカレ担当理事で採点を行い、合計得点の最高値と平均点の最高値を得た業者を選定することが説明された。

本議案について議場に諮ったところ、全会一致の賛成をもって承認された。

[報告事項]

第1号議案 令和8年度女子インカレの開催地について

長澤常務理事より令和8年度の女子インカレ開催地について報告がなされた。

インカレ検討委員会において、令和8年度以降のインカレ開催地を聖地化してきた安城で実施するのか、他府県で開催するのか、または持ち回りに戻すのかを議論してきたが、令和8年度に関しては、安城が11月末までアジア競技大会会場となっており、安城での開催が不可能となった旨報告がなされた。

令和8年度以降のインカレ開催場所については、まだ検討をしつつ、今後報告できることがあれば随時理事会で報告することが確認された。

第2号議案 その他

清水理事より、全日本大学連盟（学連）の定款・規約が現状の運営実態に即していないことから、組織体制と意思決定の流れを整理・改善すべきと考えている旨説明がなされた。今後、定款・規約の見直しを1年かけて実施し、必要に応じて定款の外（補足規定や別規定）で柔軟に運用できるよう工夫していく旨報告がなされた。

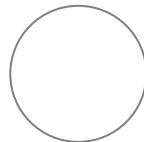
上記議事の経過の要領及びその結果を記載し、定款の規定により、代表理事、出席監事が次に署名もしくは電子署名、又は記名押印する。

[署名又は記名押印は次頁以降]

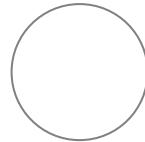
令和 年 月 日

一般社団法人全日本大学ソフトボール連盟

議長・代表理事 児玉 公正



実印

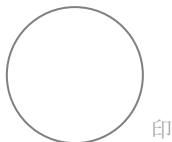


実印

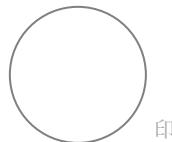
令和 年 月 日

一般社団法人全日本大学ソフトボール連盟

監事 平野 義明



印

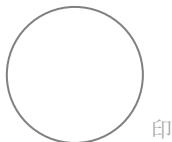


印

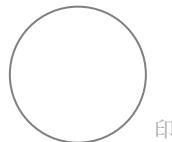
令和 年 月 日

一般社団法人全日本大学ソフトボール連盟

監事 森田 啓之



印



印